

## 平成27年度第3回津市教科用図書調査研究委員会 議事概要

1 日 時 平成27年7月27日(月) 午前9時00分から午後4時00分

2 場 所 サンワーク津1階 第3会議室

3 出席者

(1) 協議会委員

津市教育長	石川 博之 (会長)
津市教育委員会委員長	坪井 守
東橋内中学校長	篠田 昌弘 (副会長)
南立誠小学校長	西口 晶子
保護者代表	野田 昌志
保護者代表	山本 美沙子

(2) 事務局員

津市教育委員会事務局	教育次長 倉田 幸則
教育研究支援課長	
土性 孝充	
教育研究支援課主幹	川原田 元
教育研究支援課副主幹	森 雅也

4 事項

(1) 開会・会長挨拶

(2) 議事

ア 教科別調査員会の調査結果の報告及び平成28年度使用中学校用教科書調査研究結果について

(ア) 数学

(イ) 美術

(ウ) 社会 (地理的分野、歴史的分野、公民的分野)・地図

(エ) 英語

(オ) 保健体育

(カ) 技術・家庭

(3) その他連絡事項

(4) 閉会

5 議事

(1) 事項(1)について

開会 挨拶 石川会長より

本日はたくさんの種目がございます。よろしくお願いいたします。

(2) 事項(2)議事のア

教科別調査員会の調査結果及び推薦案の報告について

- ① 数学の調査員会部長から、「平成28年度使用中学校用教科用図書調査報告書」に沿って、調査結果の報告があった。

質疑応答及び協議は以下のとおりであった。

部長：調査員としましては、啓林館の教科書を推薦したいと思います。

その理由は、「みんなで話し合ってみよう」、「自分のことばで伝えよう」、「自分の考えをまとめてみよう」といったコーナーが設けてあり、言語活動を充実させ、思考力・表現力を育成する工夫がなされているからです。さらに、「ふりかえり」というコーナーがあり、つまずき易いところをもう一度振り返ることで、学力の定着にもつながります。問題練習の数も適量であると判断しました。

また、「MathNaviブック」という別冊があり、生徒自身がその説明を見ながら問題の答え合わせができるというように、非常に学習し易く、使い勝手も良いと思います。このMathNaviブックには、既習事項を確認する内容や活用力を育む課題も記載されているので、習熟度別にクラスを分けている場合など生徒実態に応じて使い分けることもできます。

議長：ありがとうございました。調査員からの報告について、ご質問はありますか。

委員：推薦案で、「学習を深化させるためにできるよう配慮されている」とあるが、具体的にはどういうことですか。

部長：例えば、1年生のMathNaviブックの42ページに自由研究があり、一見すると非常に難しい面積の問題ですけど、ちょっと切って移動させると解決につながります。基本的な面積の求め方の理解とともに、着眼点を学ぶことができるということで学習を深化させる教科書であると言えます。

委員：啓林館は、問題の量が適当ということ、話し合い活動を重視しているということ、MathNaviブックの活用、振り返りがやりやすい、このあたりが他の発行者に比べて優れているように受け取ったのですが、よろしいですか。

部長：はい。

委員：津市は小中一貫教育を進めています。その観点から調査員では議論されましたか。

部長：はい、特に1年生の教科書は、イラストが多めで字体もやや大きめです。また、「中学校に入ったらこんなふうにノートを取っていくのだよ」というようにノートの取り方の工夫についても丁寧に書いてあります。

さらに、小学校から中学校に入ってきた子どもたちの多くは、文字式に戸惑いますが、文字についても丁寧に説明されています。このように、小学校からの接続の点でも、啓林館が良いのではないかと思います。

委員：推薦の理由に「全国学力・学習状況調査で指摘された生徒の課題に対応した教科書作りをしている」とありますが、おそらくどの教科書もそうだと思うのですが、啓林館の特長は何ですか。

部長：生徒自身が説明することに重点的を置いていることです。全国学力学習状況調査でも、一般的に自分の考えを式に表して表現するといった力が不足していることから、そこを意識して作ってある教科書だと思います。

#### 【部長退室】

議長：それでは、どれを候補としていくかご意見をください。

委員：文字の導入は、啓林館の説明が一番丁寧で指導もしやすいと思います。

委員：MathNavi ブックの自由研究のコーナーも非常に良いのではないかと思います。現場の先生にもぜひ、活用していただきたいと感じます。

委員：啓林館は、みんなで話し合うなど、数学に協働学習が位置づいてきたところが評価できます。また、MathNavi ブックは、既習事項の確認ができる点が良いと思います。

委員：啓林館には、実生活に直結している題材が多くありなじみやすいと思います。

議長：今までの議論を踏まえますと、数学につきましては、啓林館を本委員会の候補とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員全員：異議なし

議長：数学につきましては、啓林館を候補とします。

② 美術の調査員会部長から、「平成28年度使用中学校用教科用図書調査報告書」に沿って、調査結果及び推薦案の報告があった。

質疑応答及び協議は以下のとおりであった。

部長：調査員としては日文を推薦いたします。その理由は、4つあります。

1点目は、自己実現の道程としての美術が強く意識された教科書作りがなされていることです。2点目は、学びのねらいが明示され、生徒にとって、学習のポイントが分かりやすくなっているということです。3点目は、鑑賞資料として優れているということです。教科書サイズも大きく、図や写真も美しいです。浮世絵のページには和紙を使用するなどの工夫もあります。4点目は、鑑賞のポイントを示しながらも、生徒一人一人の感じ方を尊重する構成になっているということです。

議長：調査員からの調査結果の説明について質問があればお願いします。

委員：各発行者の美術史の取り扱いはどうですか。

部長：美術史として特別に扱うことはございませんが、各発行者で工夫して記載しています。日文の2年、3年の上巻を見ていただきますと、後ろから2枚目位に、日本美術史と西洋とを社会背景も踏まえて対比できるようになっていて面白いです。また、開隆堂も面白い捉え方をされていて、人物画だけで歴史の対比をしています。

委員：生徒にとっての美術の教科書使用という点で、どのような議論がなされましたか。

部長：美術の教科書は、毎時間使うとは限りませんが、パッと教科書を開けた時に魅力的かどうかというのはとても重要な部分です。その時に、美術は面白そうだとか、強いインパクトとともに何か新鮮な喜びのようなものが感じられることがあります。各発行者ともその工夫はされていますが、日文の場合は、図版も大きいですし、中には和紙みたいなものを使っているページもあり、生徒が教科書から受ける印象を十分意識した教科書作りがなされているという意見が交わされました。

#### 【部長退室】

議長：それでは、どれを候補としていくかご意見をください。

委員：三年間とおして、美術に興味を持つ、好きになってもらえることが大切だと思うのですが、日文は、1年が「出会いと広がり」、2年が「美の追求」という具合にメッセージが強く伝わってきます。特に、1年生で、美術としっかり出会わせたいというメッセージ性を感じます。その点でも、日文は生徒にとって良い意味でインパクトがあるのかなと思います。

委員：それと、日文は作品をきれいに写してもらっているし、学びのねらいもきちんと示していて評価できます。

議長：今までの議論を踏まえすと、美術につきましては、日文を本委員会の候補とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員全員：異議なし

議長：美術につきましては、日文を候補とします。

③ 社会・地図の調査員会部長から、「平成28年度使用中学校用教科用図書調査報告書」に沿って、調査結果及び推薦案の報告があった。

質疑応答及び協議は以下のとおりであった。

#### <地理的分野>

部長：帝国の「中学生の地理」という教科書が最も適切な教科書であると判断

いたしました。その理由の1点目は、地理学習の導入部である世界各地の「人々の生活と環境」において、生徒が、人々の暮らしぶりや気候について、他社に比べて具体的にとらえやすいと判断したからです。2点目は、世界や日本の諸地域の学習においては、まず概要を把握させたいうえで、次に学習のテーマが設定され、その地域の自然環境や文化、農業、工業など産業の特色や人々の生活を学習するという流れで構成されており、生徒にとって理解しやすいと考えたからです。3点目は、「日本の領域と領土問題」について、きちんと地図上に示されるとともに歴史的経緯と現状が分かりやすく記述されているからです。北方領土については、国境付近の地図を使用し日本の領土であることが示されています。さらに、領土問題の解決に向けた取組も示されています。4点目は、自然災害や災害防止について、「羅針盤マーク」というコラムを始めとして、各所に、水害・地震・噴火といった災害への防災の工夫が、2つの大震災の事例も挙げながら示されているからです。

議長：調査員からの説明について質問があればお願いします。

委員：現在は東書を使っていますが、帝国を推薦するということですね。東書と比較して、帝国が優れている点を教えてください。

部長：地理の教科書では、各地の地形があり気候があり、その後の内容をどうするかが各教科書によって違います。まず概要をもってきて、それから詳しく農業、工業と再び学ぶのか、地形・気候を学習してからまずは農業だけを学び、次に工業を学ぶという具合に分けるのか、そのような違いがあります。東書は前者、帝国は後者になります。生徒にとって分かりやすいのは、帝国のような構成だと思います。

また、写真が分かりやすく豊富である、生徒の興味関心を引きやすい、生徒に様々な問いかけがしやすい、使いやすいということでも帝国が優れていると考えました。また、A B版の教科書は、写真も大きく掲載できる他、左右に資料が配置できて、大変使いやすいのですが、前回の採択時は、東書だけがA B版でした。しかし、今回はすべての発行者がA B版となって、その差もなくなりました。

委員：例えば、A社の地理をやる。その関連のところと結び付けて歴史をやる場合、地理と歴史の教科書会社が変わっていてもうまく生徒への指導はできますか。

部長：切り替える場所は、地理、歴史のそれぞれの節（まとめ）であり、まとめの中での学習内容はそれほど変わらないと思います。あえて言えば、同じ会社であれば学習内容の並びが同じになっているので、同じ発行者の

方が、その点では見やすいかもしれませんが、大きな問題ではないと考えています。

委員：帝国や日文にある三重県を題材として取り上げた部分はどこであることを教えてください。

部長：帝国P131をご覧ください。コラムで2つの地方の特色を併せ持つ三重県となっています。P137には、香良洲の三角州を表しています。他の教科書は、広島県のものを使っています。また、日文P125のコラムでは、「三重県はどの地方？」とあり、天気予報では東海の方に入ることが示されています。

委員：今日的課題においては、先生方にとってどう教えるかが問題となっている。東日本大震災の記述が日文はかなり多いと思ったが、量よりも言い回しについて調査会での議論はありませんでしたか。

部長：領土問題については、この4社の中で違いが1つありました。東書の方は、あまり歴史的経緯が記載されておらず、地形とか資源の記載が多かったです。他の3社は、歴史的経緯を交えて説明しております。

#### <歴史的分野>

部長：日文の中学社会歴史的分野という教科書が最も適切な教科書であるというふうに考えております。その理由をご説明します。

1点目は、各時代の特色や時代の転換点を資料から考える活動を通して歴史の大きな流れを捉えるようになっているとともに、歴史的事象を多角的に捉えることができるようになっていからです。2点目は、全単元を通じて、我が国の歴史を世界の歴史の中で捉えて広い視野で歴史を理解できるようになっているからです。例えば、全単元の初めに「地図で見る世界の動き」というのを設けて、アジアを中心とした世界の動きを日本との関わりの中で示していて、日本の歴史を学習する上で背景がより分かりやすくなっています。3点目は、「先人に学ぶ」「歴史を掘り下げる」といったコーナーで伝統と文化を中心に資源、環境、命の尊さなど幅広いテーマを取り上げており、自主的な学びにつながる課題設定が容易にできるからです。4点目が、人権問題にも多くのページを当てて記述されているからです。5点目は、領土問題について、歴史的経緯や現在の課題について丁寧に説明されているからです。6番目は、防災についても、阪神淡路大震災や東日本大震災が詳しく取り上げられるとともに、コラムを活用し、生徒に分かりやすく説明しているからです。

議長：調査員からの説明についてご質問があればお願いします。

委員：人権・同和教育に関わっている記述の充実という点では、どのような感

じでしたか。

部長：必要なことが注釈での簡単な説明で終わっていたり、また、「解放令」という言葉がなかったりしたものもありました。人権問題について、しっかり記述されているのは日文だと考えております。

委員：近現代史は、今日的な課題が含まれていますが、授業の時間が少なく十分扱えないこともあるのではないのでしょうか。教科書全体のボリュームについて議論されましたか。

部長：そういうことについては特に議論はいたしませんでした。

#### <公民的分野>

部長：7つの教科書を検討させていただきました結果、東書の「新しい社会 公民」が最も適切な教科書であると考えました。その理由を説明します。

1点目は、公民的分野をどんな観点で学び、何が求められているのかということが、他の発行者より明確に示されていて、学習の一貫性が見られるからです。2点目は、各章の導入部分に工夫がなされており、興味・関心が引き出され、学習の視点がつかみやすくなっているからです。3点目は、生徒の興味や関心を喚起するような身近な内容を取り扱っているからです。4点目は、各小単元が見開き2ページ分で、学習しやすい構成で統一されたレイアウトになっているとともに、大きくて分かりやすい写真や資料が豊富に掲載されているからです。5点目は、領土問題について、本文の記述の他、コラムで日本の領土をめぐる問題の現状が取り上げられており、我が国の領土問題を正しく捉えた上で、解決に向けての方向を明らかにしているからです。また、防災についても工夫がなされ、分かりやすい記述がなされています。

議長：調査員からの公民について説明で何かご質問ありませんか。

委員：例えば、「こういう意見があります」とか、「こういう対立があります」といった記述をしている発行者があり、これは「意見」という形を借りて通説じゃない内容を示していると思います。中学校の授業で、このような通説外のことを教えるのはどのようにしていますか。

部長：通説でなくても本文にあれば丁寧に説明することが多いと思いますが、その際には、通説も併せて説明していると思います。また、何かを理解するために必要であれば、そういう通説でない内容も使うことはありますが、普通は通説でないことはあまり取り上げません。

委員：公民というのはどちらかと言うと、社会の自治について問題意識を持たせる大きな役割を持っていると思います。震災、地域紛争、テロ関係、オリンピック、選挙制度の変更、それらを通じて、いかに政治に関心を持た

せていくか、もっと大きく言うと、将来を担う子どもたちをどのように育てていくのかという視点ですが、その点は、どのように議論されましたか。

部長：公民は、義務教育を終える最終学年で学びますし、その内容から社会の仕組みをしっかり把握し、認識していくべきものだと思います。当然、今日的な出来事についての記載も検討しました。

<地図>

部長：2つの発行者を比較して、帝国の「中学校社会科地図」を推薦候補としました。

その理由の1点目は、生徒が課題を追究する際に、調べて情報を得るためのコンテンツの一つとして考えると、種々の地図の掲載はもちろんのこと、資料や写真が豊富で適切に配置されているからです。それによって、理解しやすく、興味・関心を高める内容にもなっています。2点目は、地理的技能として、読図や作図といった地図活用の技能が身につけられるように工夫されていることです。地図帳の使い方が巻頭の見開きページに、具体的に示されているとともに、随所に「地図を見る目」「やってみよう」というコーナーで課題や着目点が示されており、地図を見るときのポイントや活用方法が分かりやすく、生徒の自主的な取組を促すように工夫されています。また、環境問題や領土問題に関係する地図や写真、資料もあり、他の分野の学習にも使えるように工夫されています。

議長：地図について調査員に何かご質問はありませんか。

委員：地理の授業をするときに、帝国の地図の方が使いやすいということがいえますか。

部長：帝国の地図については、資料が豊富でいろいろな使い方できると考えています。したがって、この地図に合うのほどこかの発行者だけということにはなっていないと思います。東書の地図帳については、東書の地理の教科書にあっているかとは思いますが。

【部長退室】

議長：順番に協議します。まず地理です。

委員：東書の質は高いが、教員が指導する際に配列を再編しているという現状があります。一方、帝国は、再編する必要もなく、まとめ方も良くて合理的に使えます。サイズも東書と同サイズに大きくなりました。教科書を指導用のテキストとして考えると、調査員からの報告をもとに帝国で良いと思います。

委員：確かに、帝国のP174と東書のP182で九州の農業の部分を比べると、帝国はこれで農業全部を扱って、次のページが工業になりますが、東

書は農業も工業も入っています。

委員：東書は、課題はこうで、このような言葉を使って説明しようという学習のポイントが示されています。一方、帝国はそのポイントは生徒自身が探すという意図で作成されているようです。生徒の思考力を育むという点では帝国の意図は評価できます。

議長：今までの議論を踏まえたと、地理につきましては、帝国を本委員会の候補とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員全員：異議なし

議長：地理につきましては、帝国を候補とします。

議長：続いて歴史について協議します。

委員：日文が良いと思います。教科書の内容が面白くて引き込まれてしまいました。

委員：日文は文脈が分かりやすいと思います。

委員：読んでいて文脈が分かりやすいという点は重要ですね。

議長：それでは、歴史につきましては、日文を本委員会の候補とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員全員：異議なし

議長：歴史につきましては、日文を候補とします。

議長：続いて公民について協議します。

委員：東書か日文が良いと思います。

議長：調査員からは東書が候補として挙がっています。

委員：領土問題や今日的課題も取り上げており、総合的に見て内容のバランスが取れているのは東書ではないでしょうか。

委員：東書で問題ないと思います。

議長：公民につきましては、東書を本委員会の候補とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員全員：異議なし

議長：公民につきましては、東書を候補とします。

議長：続いて地図について協議します。2つの発行者のどちらを候補としますか。

委員：帝国は資料が多く、汎用性もあるので帝国が良いと思います。

委員：今まで使用していた帝国で問題ないと思います。

委員：変える理由が見当たりません。

議長：地図につきましては、帝国を本委員会の候補とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員全員：異議なし。

議長：地図につきましては、帝国を候補とします。

- ④ 英語の調査員会部長から、「平成28年度使用中学校用教科用図書調査報告書」に沿って、調査結果及び推薦案の報告があった。

質疑応答及び協議は以下のとおりであった。

部長：現在使用しています学図のTOTAL ENGLISH以外の5つの発行者の中で推薦候補を選んだ結果、東書のNew Horizonでした。次に、TOTAL ENGLISHとNew Horizonを比較調査した結果、東書のNew Horizonを推薦したいと思います。その理由をご説明いたします。

まず、小学校の英語活動との接続においてですが、New Horizonの方が文字の指導に入る前に「あいさつ」や「身の回りの英語」など、小学校で慣れ親しんだ題材を多く取り入れており、よりスムーズに中学校の英語に入ることができます。また、TOTAL ENGLISHでは、be動詞の導入が一般動詞の後になっておりまして、指導しにくい面があるのに対し、New Horizonは、be動詞、一般動詞の順に導入されており、生徒にとって分かりやすい構成になっています。

目標の明示についてですが、New HorizonはUnitの最初のページの上部に、生徒にとって理解しやすい表現で学習のねらいが明示されています。

題材については、両者とも身近な話題から世界的な視野に立ったものへと広がって行っています。その中でもNew Horizonは1年生では「英語を通じて新しい世界に出会おう」、2年生では「視野をひろげよう」、3年生では「新たな視点で見直そう」というテーマのもと、日常生活の場面からより今日的課題や生徒の発達段階や興味関心に即したものが選定されています。

構成・配列については、New Horizonは、基本文が目立つように配置されているとともに日本語での説明もあり理解しやすいものになっています。また、発信力の育成という点においても、ALTとの授業やSpeaking Testにつなげやすいようになっています。

創意工夫においては、両者様々な工夫をしていますが、New Horizonは、デジタルコンテンツを活用し、IT機器を使った授業づくりがしやすくなっており、大型テレビやタブレットを用いた授業にも活用できると考えます。また、辞書指導についても、New Horizonでは、1年生の早い時期から系統的に取り組み、生徒が自学自習できるよう工夫してあります。他にも単語の書き方、文の書き方、音の変化、発音記号についても丁寧に説明がしてあります。使用上の便宜においては、New Horizonは大判で紙面全体に

ゆとりがあり見やすくなっています。

英語による発信力を身につけさせるための内容、文法指導と言語活動を一体的に行い、4技能を統合的に活用するコミュニケーション能力の育成、身近な事柄からグローバルな内容まで幅広いコミュニケーションが図れるよう創意工夫されていることから、東書のNew Horizonを推薦したいと思えます。

議長：調査員の説明に対してご質問はありますか。

委員：中学校3年生の娘がいて、TOTAL ENGLISHを使っているのですが、1年生でbe動詞の「I am～」からではなくて、一般動詞から始まっているのが、分かりづらいということを聞いています。これは、他の何人かの保護者の方からも聞いています。あいさつ、自己紹介、be動詞、一般動詞、4W1Hという私たちが習った時の順番にしてほしいと思っていました。

部長：ご意見のとおり、TOTAL ENGLISHでは、be動詞の1人称、2人称、一般動詞があって、be動詞の3人称が来ます。

委員：その後、How many～やWhat～が出て来て混乱したようです。2年生くらいになってやっと頭が整理されてきたみたいで、「英語って楽しいな！」と言ってくれるようになりました。1年生では相当苦労したようです。

委員：読む・書く・聞く・話す、どれも重要ですが、私たちは書くことと文法中心で学んだ世代ですけど、今は、トータル的にどの技能に力を一番入れているのですか。

部長：確かに読むことや書くことに力が入れられた頃もありましたが、小学校で外国語活動も進められている中、聞く・話すという力が非常に重要であります。ただし、聞いたり話したりすることだけやっても、それらの力はつきません。

#### 【部長退室】

議長：それでは、どれを候補としていくかご意見をください。

委員：NEW CROWN またはNew Horizonが良いと思いましたが、New Horizonは字も大きいし、見やすいですね。小学校を卒業した直後の子どもたちにとっては、New Horizonの方が良いかもしれません。

委員：自分の子どもは、本当にTOTAL ENGLISHは苦労しました。カラフルで見やすいけど、整理が不十分なのか、分かりにくかったようです。私が整理をしてあげたら、納得していました。

委員：私の子どもも、今中2に在籍していますが、同じように分かりにくいと言っています。私にとっては、英語は不得意分野なので、今の説明を聞いた限りでは、New Horizonは、段階を踏んでしっかりと学べる教科書なの

かなと思いました。

委員：中学1年生にとって、英語の学習にスムーズに入れるかどうかは、教科書に左右されると言えます。

議長：今までの議論を踏まえますと、英語につきましては、東書を本委員会の候補とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員全員：異議なし

議長：英語につきましては、東書を候補とします。

⑤ 保健体育の調査員会部長から、「平成28年度使用中学校用教科用図書調査報告書」に沿って、調査結果及び推薦案の報告があった。

質疑応答及び協議は以下のとおりであった。

部長：調査員として、東書の教科書を推薦したいと思います。

その理由としましては、小学校や高等学校で学習する内容が関連付けて位置づけられているということや教科書に直接書き込めるところがたくさんあって、話し合った内容が書き込めるところがあるからです。

また、保健編と体育編が交互になっておりますので、学年ごとの学習内容が分かりやすく、子どもたちにとっても見通しをもちやすいのではないかと思います。学習の流れも、「今日の学習」、「やってみよう」、「本文」、「考えてみよう」、「生かそう」という構成で、めあてとふりかえりが位置づけやすいです。さらに、「生かそう」では、学習したことを生活に活かせるように、発展課題を位置づけて生きる力につながるような工夫がなされています。

そして、章末に確認問題が必ず出てくる点もこの教科書の良いところです。子どもたちは学習内容をもう一度自分でふりかえって、どれだけ自分が学習内容を掴むことができたか分かりますし、副教材を購入しなくても十分対応でき、保護者の負担も減るのではないかと思います。ユニバーサルデザインに十分考慮されており、色彩等も特別支援に配慮してある点も評価できます。

余談ですが、各ページの下に、保健体育クイズや、これパラパラ漫画になっておりまして、オリンピックの聖火ランナーが各地域を走り、最後にオリンピックのメイン会場に聖火を点灯するというしくみになっています。子どもたちがこの教科書にふれる機会を多くするという工夫だと思いました。

以上の点を踏まえ、総合的に検討した結果、東書を推薦したいと思います。

議長：調査員からの説明にご質問がありましたらお願いします。

委員：保健体育の授業数は、1週間に何時間位ですか。

部長：週3時間と決められているのですが、半期で3時間のうち1時間を保健の指導に当てている学校が多いと思います。

委員：その時間内でこの教科書を使いきるとことはできますか。

部長：従来、保健編については、学年の区切りがあったのですが、体育編はひとまとめになっていました。次の学年に少し先送りしたり、1年生で少し多めに学習したりすることがありました。その点、東書の教科書は、学年ごとに編集されていますので、学ぶべき内容がきちんと整理されています。指導の漏れや次の学年に先送りすることなどがなくなることに繋がると思います。

委員：そうですね。他の教科書と比べたら、学年ごとに明確にされているので、子どもたちも見て読み取れると思いますね。

委員：東書と大日本図書はよく似ていますが、こちらに決めるに当たって、他の調査員の方からはどういう意見がありましたか。

部長：大日本図書の内容は良いのですが、まとめの問題がないというのが課題でした。これにまとめの問題があれば、甲乙つけ難いものだと思います。

委員：まとめ問題があるという点が、大日本図書より優れているところですね。

部長：そうです。まとめ問題がないと、副読本を買うなど、保護者の負担も増えてきますが、東書なら補助的なプリントを作るぐらいで対応できます。

#### 【部長退室】

議長：それでは、どれを候補としていくかご意見をください。

委員：東書で良いと思います。

委員：分かりやすいですね。

委員：まとめの問題があるので学習内容の定着にもつながりますね。

議長：今までの議論を踏まえますと、保健体育につきましては、東書を本委員会の候補とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員全員：異議なし

議長：保健体育につきましては、東書を候補とします。

⑥技術家庭の調査員会部長から、「平成28年度使用中学校用教科用図書調査報告書」に沿って、調査結果及び推薦案の報告があった。

質疑応答及び協議は以下のとおりであった。

部長：調査員としましては、新編新しい技術・家庭、東書の技術分野～未来をつくるテクノロジー～並びに家庭分野～自立と共生をめざして～を推薦したいと思います。その理由を説明します。

1点目は、「ガイダンス」に工夫がなされており、特に、家庭分野の中では学習内容の系統性が示されていることです。2点目は、各節のタイトル・構成が、いわゆるアクティブラーニングを視野に入れた問題解決的な学習を通

して、基礎的・基本的な知識や技能を習得できるように工夫されていることです。3点目は、各編の最後に「学習のまとめ」を設けて、基本的な知識や技能を定着させ、実践的な態度の育成につながるように構成されていることです。それぞれの問いには、関連ページが明示されており、振り返りが容易にできる工夫がなされています。さらに、基礎的・基本的な知識や技術に関する重要語句がコンパクトにまとめられています。

4点目は、「のこぎり挽き」のところに代表されるように、基礎技能のコーナーを設けるとともに、写真等で視覚的に分かりやすく示すなど、自主的・自発的に学習ができるように工夫されていることです。5点目は、「技術の匠」や「プロに聞く」というようなコーナーが設けられており、技術・家庭科の学習が生活の中でどのように生かされているかが分かるようになっていることです。6点目は、各教科書とも実習に関する安全面のことは非常に力を入れていますが、東書は、実習前・実習中・実習後という形で整理されており、どのようなことが安全なのか、危険なのかということを丁寧に示していることです。7点目は、防災の内容が十分に盛り込まれており、技術で学習したことを日常の防災に役立てられるよう工夫されていることです。

議長：何かご質問ありましたらどうぞ。

委員：推薦された東書の家庭分野の特長について少し説明してください。

部長：東書の特長の一つとして、「考えてみよう」というコーナーで授業を導入し、最後に「まとめよう」というコーナーで振り返りができるようになっております。それが各節に位置付けられており、学習意欲の向上と基礎的・基本的な知識や技術の定着につながるような構成になっています。

#### 【部長退室】

議長：それでは、どれを候補としていくかご意見をください。

委員：東書の家庭分野の調理の説明は、分かりやすく、自分でも本を見たら調理ができるような感じになってきます。

委員：東書は、版が広いので、その分ゆとりが出ていますね。また、東書の方が具体的で分かりやすいと思いました。

委員：本が大きいのはメリットですね。見やすくその分情報も入れられる。技術分野での図面についても、やってみようかなという意識が高められると思います。技術・家庭というのは家でも自分でやってみようかなという気持ちになることが大切だと思います。東書の図面を見ていると、私自身もやってみたくなりました。

議長：家庭科の中に包丁の使い方が出てくるのですが、東書の方が「やってみようかな」という気になりますね。

委員：東書は、本当に調理例も多いですね。しかも写真が見やすい。

委員：防災手帳っていうのも、他の教科書にない取組で、子どもたちにとって防災意識が高くなりますね。これを家に持ち帰って、家族で防災に取り組めるのではないのでしょうか。

委員：他にご意見よろしいでしょうか。それではこれまでの意見から技術的分野と家庭的分野ともに東書という意見が多いと思います。技術的分野、家庭的分野ともに東書を本委員会の候補とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員：異議なし

議長：それでは技術家庭の技術的分野と家庭的分野に関しましては、東書を候補とします。

(5) 事項(5)について

その他連絡事項

事務局から、調査研究委員会の結果を取りまとめて、7月31日（金）及び8月5日（水）に開催する教育委員会に報告することなどが委員に伝えられた。

(6) 事項(6)について

閉会 事務局から閉会挨拶